

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2005-279794 (P2005-279794A)

【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2005-040

【出願番号】特願 2004-94190 (P2004-94190)

【国際特許分類】

B 2 5 C 1/00 (2006.01)

【F I】

B 2 5 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 11 日 (2006.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

また、断面係数 Z は、 $(A) Z_x = 2862 \text{ mm}^3$ 、 $(A) Z_y = 4163 \text{ mm}^3$ に対して、 $(B) Z_x = 792 \text{ mm}^3$ 、 $(B) Z_y = 2442 \text{ mm}^3$ で、 $(A) Z_x / (B) Z_x = 3.61$ 、 $(A) Z_y / (B) Z_y = 1.45$ となり、明らかに実施の形態に係るマガジン 22の方が断面係数が大きくなっている。部材の曲げ強度、ひねり強度等は、断面係数に比例するため、従来例に係るマガジン 122より実施の形態に係るマガジン 22の方が高強度、高剛性となる。